取扱説明書
ルームエアコン

形 名	室内ユニット	室外ユニット
	SAP-S22P	SAP-CS22P
	SAP-S25P	SAP-CS25P
	SAP-S28P	SAP-CS28P
	SAP-S36P	SAP-CS36P
	SAP-S45P2	SAP-CS45P2
	SAP-S56P2	SAP-CS56P2

このたびは、ルームエアコンをお買いあげいただき、ありがとうございました。
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保管し、
必要なときにお役立てください。

もくじ　CONTENTS

ご使用の前に

1 安全上のご注意
使用になる前に必ずお読みください

3 各部のなまえ

5 運転前の準備

使いかた

7 自動／暖房／除湿／冷房／空気清浄単独運転

8 風向調節／風量調節

9 入タイマー・切タイマー

10 イオン切換／アンペア切換／UV・除菌クリーン運転

11 単独除湿運転・ランドリー運転／1･2･3･5Hタイマー運転／快眠運転

必要なときに

12 お手入れのしかた

16 知っておいていただきたいこと

17 エアコンを上手に使うコツ

17 故障かな？

19 エアコンのくわしい説明

21 設置について

22 仕様

裏表紙 保証とアフターサービス

省エネで　守る環境　豊かな暮らし

このエアコンは地球のオゾン層を破壊しない、新冷媒R410Aを採用しています。

安全上のご注意

安全に関する重要な内容です。よくお読みいただき、必ずお守りください。

⚠ 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠ 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う危険または物的損害に結び付く可能性があるもの。

■お守りいただく内容の種類を、つぎの絵表示で区分し、説明しています。

してはいけない「禁止」事項	⃠	一般的な禁止		ぬれ手禁止		水ぬれ禁止
していただく「実施」事項	!	必ず行う		電源プラグを抜く		アースを接続する

⚠警告

新冷媒R410A以外の冷媒は絶対に使用しない

機械の故障と同時に、冷凍サイクルの破裂などの重大事故になります。

吹出口・吸込口に指や棒などを入れない

内部でファンが高速回転しているため、ケガの原因になります。
とくに小さなお子さまにはご注意ください。

電源プラグで停止をしない

感電・火災の原因になります。

エアコンが冷えない、暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつとして考えられますので、お買いあげの販売店にご相談ください。

冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理の内容をサービス技術者に確認してください。
エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有害な生成物が発生する原因になります。

電源プラグのホコリはときどきふきとる

長時間放置するとホコリがたまり、発火などの原因になります。

電源プラグの差し込みは確実に

電源プラグはホコリが付着していないか確認し、がたつきのないように刃の根元まで確実に差し込んでください。ホコリが付着したり、接続が不完全な場合は感電・火災の原因になります。

- いたんだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源コードは、途中での接続・延長コードの使用・タコ足配線をしない

電源プラグは、必ずエアコン専用の電源コンセントに直接差し込んでください。
感電・火災の原因になります。

電源コードを破損したり加工したりしない

電源コードは、束ねたり、引っ張ったり、重いものを載せたり、加熱したり、加工したりしないでください。電源コードが破損する原因になります。
いたんだまま使用すると感電・火災の原因になります。

異常時（こげ臭いなど）は運転を停止して電源プラグを抜く

異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。お買いあげの販売店にご相談ください。

自分で修理・移動・再設置・廃棄はしない

不備があると火災・感電・水漏れなどの原因になります。廃棄時も危険ですので、自分で行わないでください。

長時間冷風をからだに直接当てたり、冷やしすぎない

体調悪化・健康障害の原因になります。

吹出口の１m以内にスプレー缶などを置かない

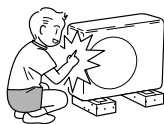
温風によりスプレー缶などの圧力が上がり、爆発するおそれがあります。
絶対にやめてください。

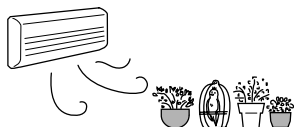
⚠ 注意

ほかの目的に使用しない

このルームエアコンは居室用です。精密機器・食品・動植物・美術品の保存など特殊用途には絶対に、使用しないでください。思わぬトラブルの原因になることがあります。

室外ユニットの吸込口やアルミフィンにさわらない

ケガなどの原因になります。

動植物には直接風を当てない

動植物に悪影響をおよぼすことがあります。

指定以外の電源を使わない

故障・火災などの原因になります。

エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わない

燃焼器具の不完全燃焼による、一酸化炭素中毒などの原因になることがあります。

電源コードを引っ張ってプラグを抜かない

必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張ると芯線の一部が断線して、発熱・発火の原因になることがあります。

燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気をする

換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。

長期間使用しない場合、安全のため電源プラグを抜く

電源プラグにホコリがたまって、発熱・発火の原因になることがあります。

エアコンを水洗いしたり、花びんなど水の入った容器を載せない

故障・感電・火災の原因になることがあります。

ぬれた手でスイッチを操作しない

感電の原因になることがあります。

ユニットに乗らない・ものを載せない

落下・転倒などにより、ケガの原因になることがあります。

エアコンを掃除するときは運転を停止し、電源プラグを抜く

内部でファンが高速回転しているため、ケガの原因になることがありますのでファン停止を確認してください。

室内ユニットの下に、ほかの電気製品などを置かない

水滴が滴下することがあり、故障・感電の原因になることがあります。

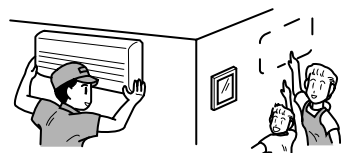
据付台がいたんだまま放置しない

室外ユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。

据え付け上の注意事項

⚠ 警告

自分で据え付けはしない

不備があると故障、水漏れや感電、火災の原因になります。
お買いあげの販売店または専門業者にご依頼ください。

⚠ 注意

可燃性ガスの漏れる場所へは設置しない

万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、爆発・火災の原因になることがあります。

アース工事をする

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話などのアース線等に接続しないでください。
アース工事が不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

漏電ブレーカーを取り付ける

設置場所によっては漏電ブレーカーの取り付けが必要です。漏電ブレーカーを取り付けていないと感電の原因になることがあります。

ドレンホースは、確実に排水するように配管する

排水工事が不確実な場合は、屋内に浸水し家財などをぬらす原因になることがあります。

各部のなまえ

室内ユニット
空気清浄フィルター
（14ページ）
吸込口
（前面・上面）
前面パネル
たて羽根
（8,14ページ）
フラップ
（8ページ）
ロックつまみ（左右）
右側のロックつまみは安全スイッチと連動していますので、通電後に「閉」にしていないと、表示ランプが点滅して運転できません。
（12,13ページ）
応急運転ボタン
（4ページ）
表示部
除菌
フィルター
UVランプ
UV・除菌ユニット
内部にUVランプと除菌フィルターがあります。
（15,20ページ）
エアフィルター（大）
エアフィルター（小）
本体センサー（内部）
湿度センサー（内部）
ファン（内部）
（15ページ）
マイナスイオン発生針（内部）
（10,15ページ）
吹出口
形名
修理やお問い合わせのときは、ここに書いてある形名をご連絡ください。
電源プラグ
応急運転
UV･クリーン
イオン
タイマー
運 転
試運転
UV・クリーンランプ
（10ページ）
イオンランプ
（7,10,11ページ）
タイマーランプ
（9ページ）
運転ランプ
（7,10ページ）
受信部
リモコンからの信号を受信すると“ピー”と音がします。
試運転ボタン
アドレス切換時、または点検時に使用します。
通常は使用しないでください。 （20ページ）
室外ユニット
SAP-CS22P
SAP-CS25P
SAP-CS28P
SAP-CS36P
SAP-CS45P2
SAP-CS56P2
吸込口
（裏面･左側面）
SAP-CS22P･CS36Pは裏面のみです。
アルミフィンにさわらないよう、ご注意ください。
配管と配線
ドレンホース
吹出口
排水口（底面）
アース用ネジ

応急運転（リモコンが使えないとき）

本体表示部にある応急運転を先の細いもので押します。応急運転ボタンを押すごとに運転の種類は運転ランプによって表示されますので、おこのみに合わせていずれかを選びます。

冷房運転（運転ランプ緑色点灯） → 暖房運転（運転ランプ赤色点灯） → 停止（運転ランプ消灯）

- 設定温度は冷房運転時には室温の－2℃、暖房運転時には室温の＋2℃となり、風向・風量設定は自動となります。
- 除湿運転、空気清浄単独運転または試運転中に押すと停止します。

運転前の準備

室内ユニットの準備

空気清浄フィルター(ご使用の場合)を取り付ける

前面パネルをはずしてから行います。
空気清浄フィルター取り付け後には、再び前面パネルをもとのように取り付けてください。

(13,14ページ)

電源プラグをコンセントに差し込む

表示ランプが一瞬点灯しますが、これは異常ではありません。

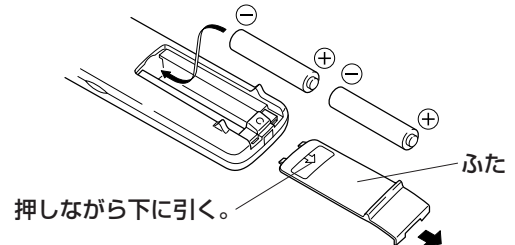
お願い

- **リモコンは、冷温風や日光が直接当たるところや、加湿器・熱源（電気カーペットやストーブなど）の近くには置かないでください。**

  また、電子瞬時点灯方式またはインバーター方式の蛍光灯がある部屋では、信号を受け付けないことがあります。このような場合は、お買いあげの販売店にご相談ください。
- リモコンは信号が届く位置に置いてください。位置が正しくないと、タイマー・室温制御などが正しくはたらきません。

リモコンの準備

乾電池の入れかた (単4形アルカリ乾電池2本)

裏面のふたをはずす

乾電池を入れて、ふたを取り付ける

＋－の向きを正しく！

カバーを開け、 を先の細いもので必ず押す

乾電池の交換時も必ず リセット ◎ を押してください。

設定した内容は取り消されますので、設定をしなおしてください。

現在時刻を合わせる *(6ページ)*

- 長期間ご使用にならない場合は、乾電池を取り出してください。
- アルカリ乾電池の交換は、１年がめやすです。
  乾電池の寿命が近づくとリモコンの表示部がうすくなったり、受信距離が短くなります。このような場合は、乾電池を新しいものと交換してください。
- 付属の乾電池はモニター用ですので、１年に満たないうちに消耗することがあります。
- ご使用後の乾電池は指定の場所に捨ててください。
- アルカリ乾電池以外は使用しないでください。誤作動する場合があります。

現在時刻の合わせかた

▼カバーを開ける

リモコンの裏ぶたを閉じた後は、午後0:00が点滅しています。

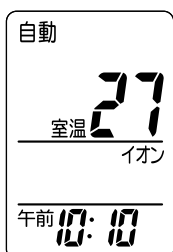
（例）午前10時10分に合わせる場合

入 を押し、「午前10:10」に合わせる
（▲すすむ、▼もどる）

時刻は1分単位で設定できます。
押し続けると10分単位で早送りになります。

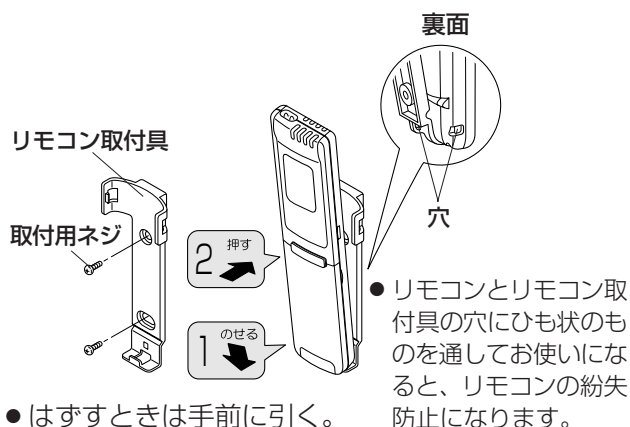
時計 を押す

現在時刻セット完了です。

（ご使用中に現在時刻を修正する場合は、時計 を押して時刻表示が点滅してから上の手順で行います。）

リモコンの取り付けかた

壁などに取り付けてご使用の場合

取り付ける位置で 運転/停止 を押し、室内ユニットから“ピー”という受信音がしてエアコンが作動することを確認してから取り付けてください。

- リモコンとリモコン取付具の穴にひも状のものを通してお使いになると、リモコンの紛失防止になります。
- はずすときは手前に引く。

お願い

- リモコンを手もとでご使用の場合、操作するときや運転中は、送信部を室内ユニットの受信部に向けてください。
- 受信部とリモコンの間に、信号をさえぎるようなものを置かないでください。

センサーボタンについて

- 体感センサーは5分に1回、リモコン周りの温度中心の室温制御をし、本体センサーは30秒に1回、本体中心にきめ細かな室温制御をします。リモコン制御で支障をきたす場合は センサー を先の細いもので押し、本体センサーに切り換えることをおすすめします。

  本体センサーに切り換えると、表示部に が表示されます。

自動/暖房/除湿/冷房/空気清浄単独運転

自動運転
エアコンがそのお部屋の状況に合った運転の種類を自動的に選び、温度・風量・風向きを自動調節し、運転します。

暖房/除湿/冷房運転
おこのみの運転内容に設定できます。また、その内容はリモコンに記憶され、次回運転の際も有効です。

空気清浄単独運転
空気清浄フィルター（ご使用の場合）で空気中のチリ、ホコリを取り除き、タバコの煙やにおいを軽減する送風運転をします。

▼カバーを開ける

運転停止後の作動について
- UV・除菌カビガード機能により、室内のファンが約30秒間運転します。（運転ランプは消灯）フラップはファン停止後に閉じます。
  （20ページ）
- 除湿・ランドリーの運転停止後には室外のファンも数分後に停止します。
  （SAP-S36P・S45P2は除く）

1 運転の種類を選ぶ

運転切換

運転切換 を押すごとに順次運転の種類が変わっていきます。

自動 ➡ 暖房 ➡ 除湿 ➡ 冷房 ➡ 空清

2 運転する

ピーピー

運転/停止

運転/停止 を押してください。

運転を停止するときは
もう一度、運転/停止 を押してください。

温度調節

ピー

温 度

設定温度を変えたいとき

運転中に 温度 を押す

下げたいとき 上げたいとき

▼

押すごとに1℃ずつ変化します。

自動運転

自動
設定温度 標準 +1
風向自動 イオン
風量自動
午後 2:30

標準温度から+4℃（高め）から−4℃（低め）の範囲で変更できます。
（冷房時の上限は30℃です。）

暖房/除湿/冷房

冷房
設定温度 26
風向自動 イオン
風量自動
午後 2:30

設定できる温度は16℃から30℃までです。

（暖房・除湿・冷房とも共通の設定にしているため、設定幅が広くなっておりますが、設定温度によっては、外気や室温の温度条件などからエアコン内部の保護がはたらき、希望の温度にならない場合があります。）

メモ

自動運転時の設定標準温度

運転の種類	設定標準温度
暖　房	24℃
除　湿	運転開始の温度（20℃〜26℃の範囲）
冷　房	27℃

- 除湿運転と、単独除湿運転は、同じ運転内容です。
- 運転をいったん停止してから4時間以内に再運転すると、停止前と同じ設定の運転になります。

再熱除湿方式について
- 除湿運転時、室温が設定温度より高い場合は冷房運転と同じ運転を行い、設定温度に近づくと湿度優先の除湿運転を行います。
- 外気やお部屋の条件によっては、室温が合わない場合があります。

室内ユニットの**運転ランプ**、**イオンランプ**が点灯

	運転の種類	色
運転ランプ	暖　房	赤　色
	除　湿	橙　色
	冷　房	緑　色
	空気清浄	緑　色

☞

- 除湿運転は、室温を上げる機能はありません。
- 外気温度や室内の熱量によっては、室温が変動します。
- 空気清浄単独運転では設定温度の変更はできません。
- 変更温度は運転停止後も記憶されています。
- 除湿運転中に設定温度を下げ、冷房運転に切り換わった場合は、約3分間室外ユニットが停止します。
- 除湿運転時、室温より設定温度が高い状態で運転すると、湿度が下がらない場合があります。この場合は、設定温度を現在の室温より下げてご使用ください。
- 室温制御は設定に対し、±2℃の中で安定するように制御しています。このため、リモコン表示は設定温度とずれることがあります。安定する前に±2℃の範囲を超えることもあります。
- 冷房運転は設定温度優先で運転します。
- **風向・風量を調節したいとき**
  （8ページ）

くわしい説明
（19,20ページ）

風向調節／風量調節

暖気・冷気のかたよりを調節できます。

▼カバーを開ける

風向調節

ピー

上下の風向きを変えたいとき

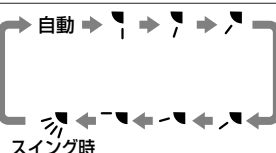
風向

運転中に を押す

▼

押すごとにつぎのように切り換わります。

リモコン表示

⑥ ⑤ ④ ③ ② ①

フラップ可動範囲

	可動範囲	風向自動時のフラップ位置	スイング範囲
自動運転（暖房）	③〜⑥	②	①〜④
自動運転（冷房·除湿）	③〜⑥	⑥	③〜⑥
暖房運転 空気清浄単独運転	①〜⑥	②	①〜④
冷房・除湿運転	③〜⑥	⑥	③〜⑥

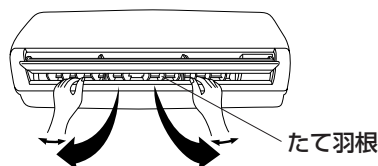
左右の風向きを変えたいとき

停止中に、吹出口にあるたて羽根を手で左右に調節します。羽根は左右2分割されていますので、それぞれ中央の羽根を持って行ってください。

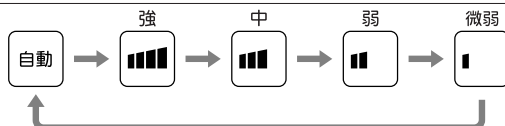
風量調節

ピー

風量を変えたいとき

風量

運転中に 風量 を押す

▼

押すごとにつぎのように切り換わります。

● 除湿運転中の「強」「中」は、冷房の「強」「中」より風量が低くなります。

お願い

● フラップは、必ずリモコンで操作してください。手で直接操作すると、フラップがリモコンの設定位置とずれる場合があります。正常にもどすには、リモコンでいったん運転を停止させ、フラップが閉じてから再運転をしてください。
● 冷房・除湿運転時、梅雨どきなどの湿度の高いときにたて羽根を大きく左右に曲げて使用すると吹出口付近に露が付着したり、滴下することがあります。たて羽根をまっすぐの位置にしてください。
● 左右の風向調節は、必ず停止中に行ってください。運転中はファンが回転しているため、ケガの原因になります。

☞

● 風向設定は前回の位置を記憶しています。

☞

● リモコン表示はめやすですので、実際の角度とは異なります。
● 本体のフラップ位置⑤⑥はリモコン表示よりも下向きになり、フラップ位置①は真下よりも、若干ななめ上になります。
● 運転停止後、フラップが閉じた後、モータ音がすることがありますが異常ではありません。
● フラップ位置は、できるだけ各運転の種類の「風向自動時のフラップ位置」でご使用ください。
● フラップは歯車で動作させているため、スイング中にわずかに動作が止まる場合がありますが、異常ではありません。
● フラップには機構上あそびがありますが、異常ではありません。

☞

● 暖房運転開始時、冷風防止機能がはたらいている場合は、風量の変更はできません。（16ページ）
● 暖房運転時、室温が設定温度に到達すると熱交換器温度が低くなるため冷風防止機能がはたらき、おこのみの風量の変更ができないことがあります。この場合は設定温度を上げてください。
●「自動」は風量が自動的に切り換わります。

風向・風量調節について

● 暖房運転開始時、冷風防止機能がはたらいているときは、吹出温度が高くなるまでフラップ⑥の位置になります。この間はリモコンで操作しても、フラップは動きません。吹出温度が高くなると暖房運転使用範囲になります。
● UV・除菌ホコリカット機能により、風向自動・風量自動で運転開始時には、30秒間フラップは⑥よりさらに上になり、弱風で運転します。（20ページ）
● 運転切換 を押すと風向は風向自動時のフラップ位置に、風量は自動になります。

使いかた

入タイマー・切タイマー

タイマー予約をするときは、必ずリモコンの現在時刻が正しく合っていることを確認してください。

入タイマー
設定した時間に運転を開始します。

切タイマー
設定した時間に運転を停止します。

▼カバーを開ける

1 タイマー予約をする

入 または 切 を押してください。
表示部が予約時刻表示になります。

入タイマー表示	切タイマー表示

2 予約時刻を設定する

入 または 切 を押し、続けて予約時刻を設定します。（▲すすむ、▼もどる）
時刻は10分単位で設定できます。
押し続けると早送りになります。

- 予約後、「入」または「切」の点滅が点灯に変わり、設定が終了します。

組み合わせタイマー・予約の変更・取り消し

入タイマー・切タイマーを組み合わせたいとき

入タイマー・切タイマーをそれぞれセットする

予約時刻を変更したいとき

入 または 切 を押して時刻を変更する

予約を取り消したいとき

- 取消 を押す
- 入タイマーまたは切タイマーのどちらかを取り消すときは、取り消したいほうのタイマーボタンを押してから 取消 を押す。

☞
室内ユニットの**タイマーランプ**が点灯

- タイマー予約は、運転中、停止中どちらでもできます。

タイマーについて

- タイマー予約は、タイマー運転後には取り消されますので、そのつどセットしなおしてください。
- タイマー予約中は、停止中でも風向・風量・設定温度の変更が可能です。入タイマー予約中に運転を停止しても、予約を取り消さない限り、設定時間になると運転を開始します。
- 切り忘れ防止として、入タイマーによる運転開始から25時間以上リモコン操作がない場合には、運転を停止します。

☞
- 組み合わせタイマーは現在時刻を基準にして、セット時刻が早いほうから先に作動します。

イオン切換／アンペア切換／UV・除菌クリーン運転

イオン切換
運転中に発生するマイナスイオンの入切を切り換えます。

アンペア切換
電気カーペットや電子レンジなど消費電力の大きい機器と併用するとき、ブレーカーを切れにくくする機能です。

UV・除菌クリーン運転
停止中に操作することにより、暖房運転してエアコン内部を乾燥させ、カビの発生をおさえます。お部屋のお掃除のたびのご使用をおすすめします。

▼カバーを開ける

運転中は室内ユニットの**イオンランプ**が点灯

- マイナスイオンは、マイナスイオン発生針から発生されます。

アンペア切換について

- 最大運転電流を下げ、能力をおさえた経済的な運転を行います。

設定電流	SAP -S36P -S56P2	SAP -S22P -S25P -S28P -S45P2
表示なし	20A	15A
┐A	15A	8A

- 夏の昼間や冬の夜間など、冷暖房能力が不足し、お部屋の温度が設定温度にならない場合にはもとの設定にしてください。

室内ユニットの**UV・クリーンランプ**が点灯

UV・除菌クリーン運転について

- 弱風で暖房運転を行い、35分後に運転を停止します。

運転可能条件

外気の温度	1～43℃
部屋の温度	13～32℃

- 外気または部屋の温度が高いときは、保護装置がはたらくことがあります。
- 冷房・除湿運転直後のご使用が効果的です。
- 冷房・除湿運転直後には室温・湿度が上がります。
- お部屋ににおいが出てきますので、窓やドアの開放や換気扇などで、換気をしてください。
- 運転中に“ピシッ”という音がしますが、異常ではありません。
- UV・除菌クリーン運転中のリモコン操作は UV・除菌クリーン のみ有効です。

くわしい説明
（20ページ）

使いかた

単独除湿運転・ランドリー運転／1･2･3･5Hタイマー運転／快眠運転

運転中、停止中にかかわらず、運転を開始します。

単独除湿運転
通常の除湿運転(7ページ)がワンタッチで選べます。

ランドリー運転
室内に干した洗濯物を乾かしたいときにお使いください。

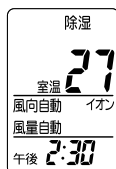
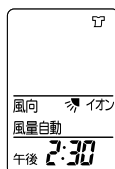
1･2･3･5Hタイマー運転
おこのみの時間だけ運転しますので、切り忘れがありません。

快眠運転
おやすみ中も快適な環境にしてくれる機能です。通常よりもおさえた運転音で室温をコントロールします。

▼カバーを開ける

単独除湿運転・ランドリー運転

除湿･ を押すと「除湿」または「ランドリー」に切り換わりますので、いずれかを選びます。

単独除湿運転表示	ランドリー運転表示
除湿 27 室温 風向自動 イオン 風量自動 午後 2:30	風向 イオン 風量自動 午後 2:30

運転を停止したいとき

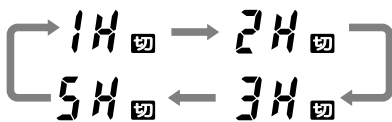
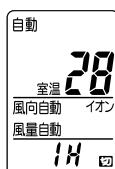
運転/停止 **を押す**

1・2・3・5Hタイマー運転

1･2･3･5H タイマー **を押す**

▼

押すごとにつぎのように切り換わります。

1H 切 → 2H 切 → 3H 切 → 5H 切 → 1H 切

● 押してから3秒以上たつと、「1H」にもどります。

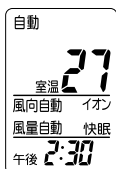
取り消したいとき

運転/停止 **を押す**

快眠運転

運転中に 快眠 を押す

▼

表示部に「快眠」が表示されます。

取り消したいとき

快眠 **をもう一度押す**

☞
室内ユニットの**運転ランプ、イオンランプ**が点灯

- 除湿･ はすべての運転に対して最優先します。
- お部屋の条件によっては、室温が下がる場合があります。
- 除湿･ では運転を停止できません。
- 停止後、前回の運転の種類および設定内容にもどります。

ランドリー運転時には

- 温度設定と風量切換はできません。
- 室内ユニットが確実に受信していることを確認してください。
- お部屋に人がいない場合のご使用をおすすめします。

くわしい説明
(19ページ)

☞

- 1･2･3･5Hタイマー運転中に 1･2･3･5H タイマー を押すと、押した時点からおこのみの時間後に運転を停止します。
- 切タイマー中に 1･2･3･5H タイマー を押すと、おこのみの時間後に運転を停止し、切タイマーは取り消されます。
- 1･2･3･5Hタイマー運転と切タイマーは、後押し優先になります。
- 入タイマー中に 1･2･3･5H タイマー を押すと1･2･3･5Hタイマー運転が優先します。1･2･3･5H タイマー で設定した時間内に入タイマーの設定時間がきた場合、入タイマーは無視され、そのまま運転を続けます。
- ランドリー運転時には、はたらきません。

☞

- 室内ユニットの表示ランプが減光します。(お部屋が明るいときは、ランプが見づらくなります。)
- 室内外ユニットの風量を自動的に下げ、運転時の送風音をおさえます。
- 1時間後の設定温度を冷房・除湿時は1℃高く、暖房時は3℃(2時間後さらに4℃)低くします。(除湿時、除湿優先のため、室温表示が合わない場合があります。)
- 空気清浄単独運転、ランドリー運転時には、はたらきません。

お手入れのしかた

日ごろのお手入れが、エアコンを長持ちさせるヒケツです。こまめなお手入れを心がけましょう。

お手入れの前に（掃除を業者に依頼するときは、お買いあげの販売店にご相談ください。）

エアコン本体を掃除するときは停止する
- 掃除するときは必ず運転を停止にし、電源プラグも抜いてください。内部でファンが高速回転しているため、ケガの原因になることがあります。

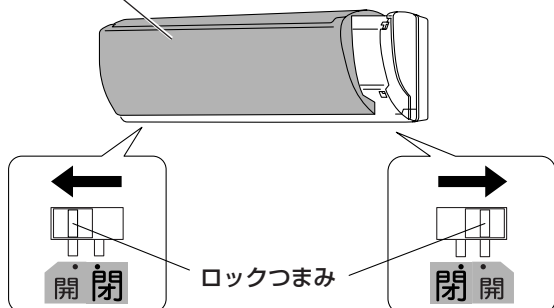
エアコンは直接水洗いをしない
- エアコンを水洗いしないでください。故障・感電・火災の原因になることがあります。

不安定な踏み台などは使用しない

エアコン内部にある湿度センサーには、水などは絶対にかけない
- 湿度センサーが正しく機能しなくなるおそれがあります。

シンナー・ベンジン・アルコール・中性以外の洗剤・40℃以上のお湯は、使用しない
- 変形・変色の原因になります。
  室内ユニット・リモコンには、絶対に水をかけないでください。（故障や感電のおそれがあります。）

本体・リモコンのお手入れ

柔らかい布でからぶきします。
- 汚れがひどい場合は、水ぶきしてください。
  リモコンはボタン類のすきまから水などが入らないようにご注意ください。
- 前面パネルは、左右のロックつまみを「開」にして取りはずし、水洗いすることができます。
  （13,15ページ）

長期間使わないとき

- 暖房運転または空気清浄単独運転をして、カビが生えないよう機械内部を乾燥させます。
- エアフィルターを掃除し、空気清浄フィルター（ご使用の場合）の汚れ具合を点検します。
- 運転を停止し、電源プラグを抜いてください。
- リモコンの乾電池を取り出します。

再び使い始めるとき

- リモコンの乾電池を入れてください。
  （5ページ）
- 電源プラグを入れてください。

確認してください
- エアフィルターと空気清浄フィルター（ご使用の場合）は付いているか。
- 室内・室外ユニットの吹出口や吸込口をふさいでいないか。
- 電源プラグやコンセントにホコリや汚れはないか。
- アース線ははずれていないか。
- ドレンホースの先端にゴミやホコリがつまっていないか。

お手入れのめやす

エアフィルター

2週間に一度をめやすに掃除してください。

空気清浄フィルター

3ヵ月をめやすに交換してください。

エアコンのクリーニング依頼について
- エアコンのクリーニングをご依頼の場合は、必ずお買いあげの販売店またはもよりの「お客さまご相談窓口」にご相談ください。
  当社推奨の洗浄剤以外のものでクリーニングすると、不具合が生じる場合があります。

エアコン用洗浄スプレー（洗浄剤）のご使用について
- 市販のエアコン用洗浄スプレー（洗浄剤）をご使用になる場合、洗浄成分により故障の原因になることがあります。（電装部品、樹脂の割れなど）
  ご使用になるときは、洗浄剤メーカーにお問い合わせください。

お手入れのしかた

室内ユニットは、つぎのように取りはずしてお手入れができます。
また、ファンなどエアコン内部のお掃除もしやすくなっています。

空気清浄フィルター

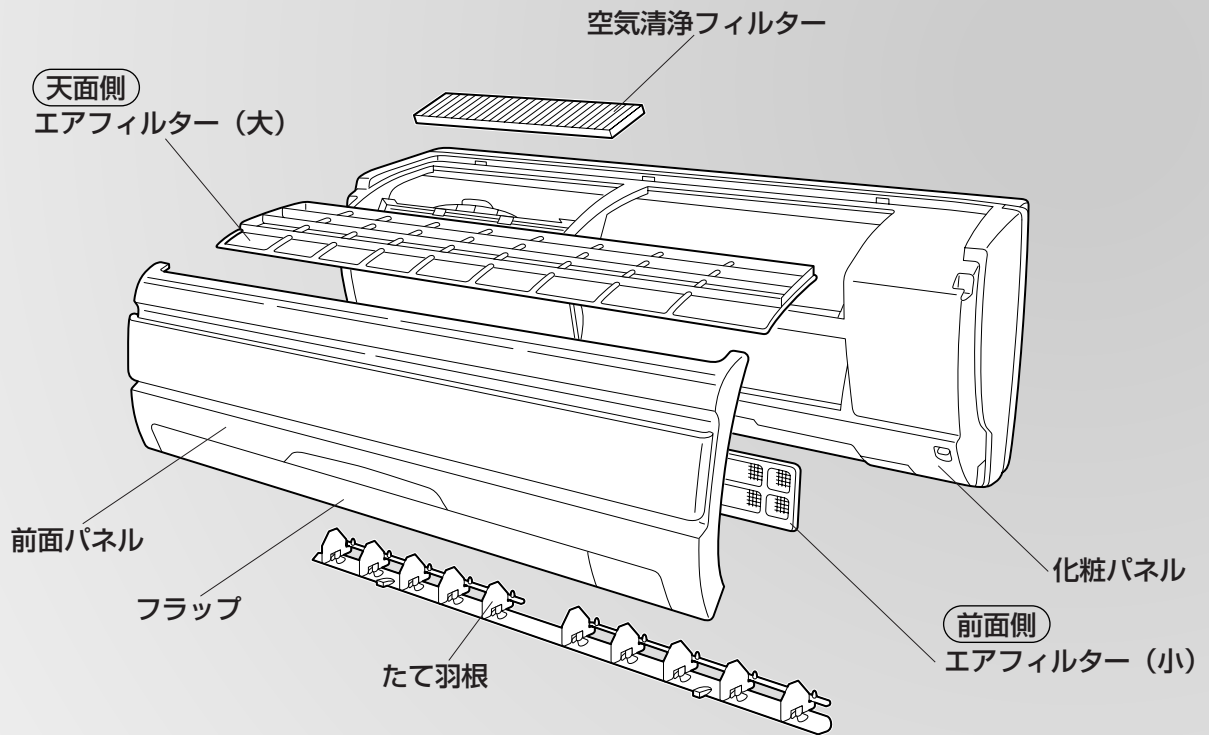
(天面側)
エアフィルター（大）

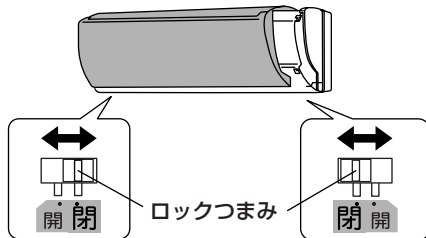
前面パネル

フラップ

たて羽根

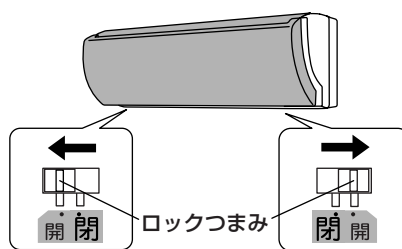
化粧パネル

(前面側)
エアフィルター（小）

前面パネルのはずしかた・取り付けかた

■必ず運転を停止し、電源プラグを抜いてから行ってください。また、ファンが停止していることを確認してください。

ロックつまみについて

●はずすとき　：「開」の位置
●運転はできません。
●取り付けた後　：「閉」の位置
●運転できます。

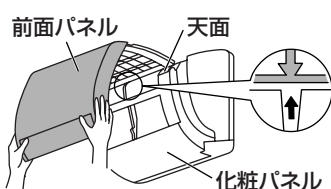
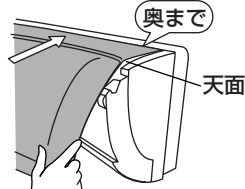
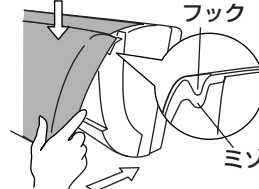
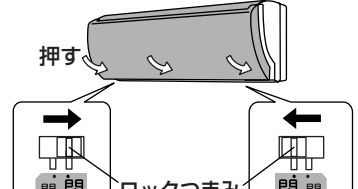
●右側のロックつまみは安全スイッチと連動していますので、通電後に「閉」にしていないと、表示ランプが点滅して運転できません。

(はずしかた)

①左右のロックつまみを「開」にします。（このときフラップが開きます。）

②前面パネルをいったん手前に開き、上に持ち上げながら手前方向にはずします。

●前面パネルをはずした後は、ロックつまみを「閉」にもどさないでください。

(取り付けかた)

● 前面パネルにエアフィルター（大）、エアフィルター（小）が付いていることを確認してください。
また、前面パネルを広げた状態で行ってください。

①前面パネルと化粧パネルの矢印を合わせます。

②天面にすべらせながら前面パネル先端を奥まで突き当てます。

③下におろし、裏側両端にあるフックをミゾにはめて閉じます。

④矢印部分（⇩）を押し、ロックつまみを「閉」にします。

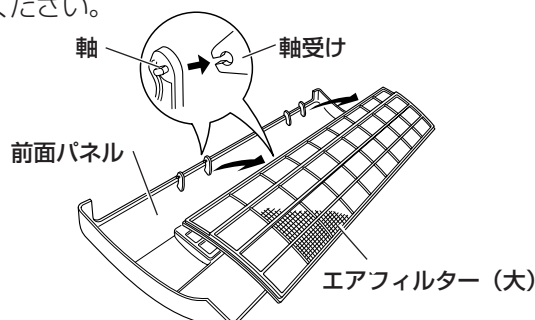
■電源プラグを抜いて前面パネルをはずしてから行ってください。
また、お手入れ後には前面パネルをもとのように取り付け、ロックつまみを「閉」の位置にしてください。
（13ページ）

エアフィルターのはずしかた・取り付けかた

運転時にはエアフィルターを必ず取り付けてください。

エアフィルター（大）

はずしかた

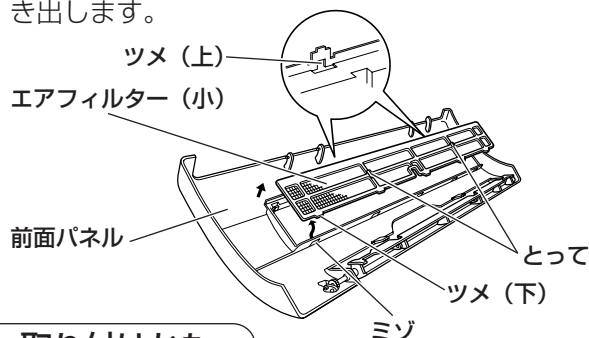
● エアフィルター（大）を折りたたんだ状態で、前面パネルを押さえながら4箇所の軸から引き抜いてください。

取り付けかた

● エアフィルター（大）を折りたたんだ状態の角度で、前面パネルの軸とエアフィルター（大）の軸受けを合わせてはめ込みます。

（軸受けが広がり、はずれやすくなりますので、エアフィルター（大）を広げた角度ではめ込まないでください。）

エアフィルター（小）

はずしかた

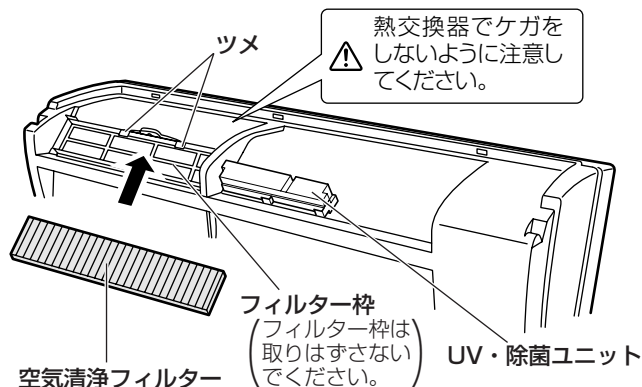
● とって部真上にあるツメ（上）2箇所をエアフィルター（小）のとってを持ってはずし、手前に引き出します。

取り付けかた

● エアフィルター（小）のとってを持って、ツメ（下）5箇所を前面パネルのミゾに差し込み、ツメ（上）2箇所にはめ込みます。

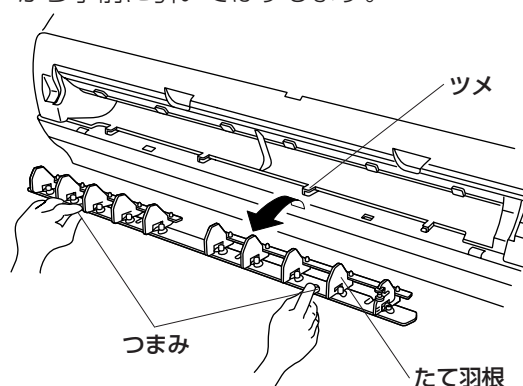
エアフィルターのお掃除

エアフィルターをはずし、掃除機をかけてから水洗いをします。
水洗いした後は、日陰でよく乾かしてください。

空気清浄フィルターの取り付け、交換

空気清浄フィルターをフィルター枠のツメの下に入れて、枠の中に取り付けます。

たて羽根のはずしかた・取り付けかた

はずしかた

● たて羽根の下にあるつまみを持ち、上に浮かせながら手前に引いてはずします。

取り付けかた

● たて羽根の下にあるつまみを持って室内ユニットのツメ4箇所にはめ込み、「パチン」と音がするまで全体を確実にはめ込みます。

お願い

● 空気清浄フィルターは、折り曲げたり、強い力を加えたりしないでください。

● 交換用の空気清浄フィルターは、お近くの販売店でお求めください。
（形式は 22ページ の別売品を参照）

● 使用済みの空気清浄フィルターは、燃えるゴミとして処理できますが、地方自治体によって異なりますので、ご注意ください。

お手入れのしかた

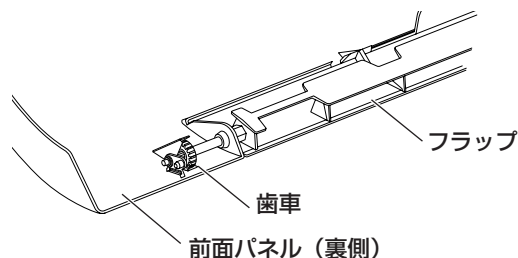
■電源プラグを抜いて前面パネルをはずしてから行ってください。
また、お手入れ後には前面パネルをもとのように取り付け、ロックつまみを「閉」の位置にしてください。
（13ページ）

前面パネル（フラップ）・たて羽根のお掃除

●柔らかい布でからぶきするか、または水ぶきしてください。また、水洗いすることもできます。
●前面パネルは、エアフィルター（大）（小）をはずしてから行ってください。

水洗いのしかた

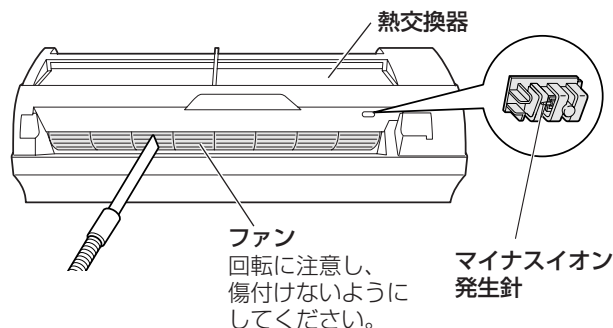
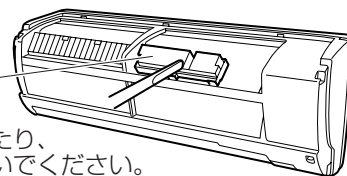
●柔らかいスポンジのようなもので軽く洗い、水気をじゅうぶんふき取ってください。汚れがひどい場合は中性洗剤を使用し、その後よく水洗いをしてください。

●フラップ右端の歯車には水がかからないようにしてください。また、歯車に付いたホコリは歯ブラシなどでこすってください。

●水洗いした後は、よく乾かしてください。

エアコン内部（ファンなど）のお掃除

ファンのお掃除は、たて羽根をはずしてから行ってください。

●柔らかい布でからぶきするか、または水ぶきしてください。

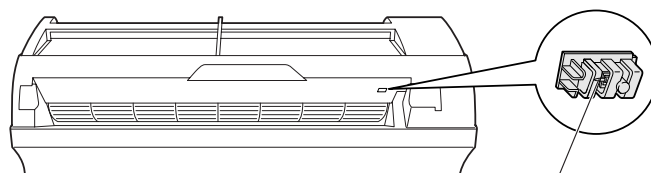
●ファンや熱交換器、UV・除菌ユニットの表面に付いたホコリは、掃除機などで吸い取ります。（ただし熱交換器右側には本体センサー、湿度センサーがありますので、その周辺は避けてください。）

●こびりついた汚れのひどいものは販売店にご相談ください。

●マイナスイオン発生針に当たらないようにしてください。

マイナスイオン発生針のお手入れ

汚れが付いたら行ってください。

●マイナスイオン発生針の先端に付いたホコリを、格子のすきまから歯ブラシなどでこすってください。
●針の周辺は綿棒などで掃除してください。

●ご使用になるうちに、マイナスイオン発生針などの金属部が変色することがありますが、異常ではありません。
●マイナスイオン発生針周辺が汚れ、そのまま放置されるとブツブツ音がしますので、ただちに掃除してください。
●お手入れの際には、無理な力を与えないでください。

知っておいていただきたいこと

ヒートポンプ方式エアコンについて

- 外気の熱を室内にくみ上げて暖房する方式です。外気温度が下がるにつれ暖房能力は低下しますが、インバーターのはたらきにより、圧縮機の回転数を上げ、その能力の低下を防いでいます。急速に室温を上げる場合や寒冷地など、とくに外気温度が低い場合には、他の暖房機器との併用をおすすめします。
- お部屋全体を暖める温風循環方式ですので、暖まるまでしばらく時間がかかります。
- 冷媒はR410Aを採用しています。

運転条件

暖房時	外気の温度　約24℃以下
冷房時	外気の温度　約21℃以上　43℃以下 部屋の温度　約21℃以上　32℃以下 部屋の湿度　約80%以下
除湿時	外気の温度　約1℃以上　43℃以下 部屋の温度　約13℃以上　32℃以下 (ランドリー運転時　約1℃以上　32℃以下) 部屋の湿度　約80%以下 (ランドリー運転時　約45%以上)

- 上記以外の条件で長時間運転しますと、保護装置がはたらいて運転できないことがあります。
- つゆどきなど湿度の高いときに運転すると、霧が吹くことがあります。この場合は設定温度を上げてください。また、長時間冷房・除湿運転すると、エアコンの表面に露が付き、滴下することがあります。これは、エアコンの能力に対して大きさの適さないお部屋で運転した場合も同様です。このような場合はタオルなどでふいてください。
- エアフィルター、空気清浄フィルター（ご使用の場合）が汚れていると水とび、水漏れの原因になりますので、ご注意ください。

こんなときは運転を停止して電源プラグを抜く

- 長期間使わないとき
- 落雷のおそれがあるとき
  電気回路の焼損を防ぐためにも、雷が鳴りだしたら早めに停止し、電源プラグを抜いてください。
- お手入れのとき
- 故障と思われるとき

運転時のニオイカット機能について

- 冷房・除湿運転の風量自動で運転開始時に約40秒間、室内ファンの運転を遅らせます。また、フラップはスイングしません。これは、エアコンに付着したいろいろなにおいが、風とともに出てくるのを軽減するためです。

暖房時の霜取機能について

- 室外ユニットに霜が付くと暖房能力が低下するので、自動的に霜取機能がはたらき（約2～12分間）、運転ランプが赤色と橙色に交互に点灯し、室内ファンが止まります。
  霜取りが終了すると、再度運転を開始します。
- 霜取中に運転を停止した場合、霜取運転は継続します。霜取運転終了後、自動的に運転を停止します。

暖房時の高負荷防止について

- 温度条件や、エアフィルター・空気清浄フィルター（ご使用の場合）の目づまり具合によっては、能力をおさえた運転や室外ユニットが停止したりすることがあるため、設定温度にならない場合があります。

暖房時の冷風防止機能について

- 運転開始時や除霜後の風量は、微風運転または停止（室温が15℃未満、室内熱交温度が20℃未満）になります。
  吹出温度が高くなるにつれて、設定風量になります。
- 室温が設定温度に到達後など、室内ユニットの熱交換器温度が低くなった場合は、風量が低下したり微風運転になります。
- 外気温度や室温によって、フラップの動作（⑥の位置）が解除するまでの時間（最長13分後）は変化します。

暖房運転停止時の除霜について

- 運転停止後、つぎの暖房運転に備えて室外ユニットに付着している霜を取り除くため、室外ユニットが運転を続けることがあります。このとき、運転ランプは消灯します。

凍結防止機能について

- 冷房・除湿運転時、温度条件やエアフィルター・空気清浄フィルター（ご使用の場合）の目づまり具合によっては室内ユニット内部が凍結することがあるため、事前に能力を下げた運転をしたり、さらには室外ユニットの運転を停止させる機能です。

冷房時の湿度上昇について

- 冷房運転は室温設定を重視していますので、設定温度になると負荷の軽いときは湿度が上がる場合があります。
  また設定温度に近づくと、ドレン水が出なくなることがありますが、異常ではありません。
- 湿度が60%以上では、最低能力を若干上げて運転します。

エアコンを上手に使うコツ

窓にはブラインドやカーテンを

夏の日差しや冬の寒さを上手に防いで、冷暖房効果をアップ。
ブラインドで約15%、カーテンでは約50%、日射量を減らすことができます。

エアフィルターはまめにお掃除を

エアフィルターが汚れると冷暖房効果が落ち、電気代が約6%ムダになります。また、異常音が発生したり、吹出口に露が付くことがあります。2週間に一度をめやすに掃除してください。

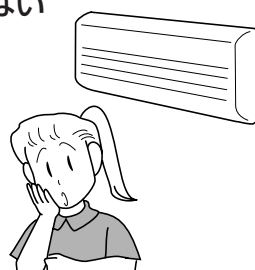
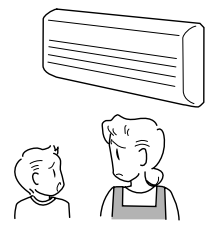
快適な冷房(暖房)温度で効率よく省エネを

冷房時、室温と室外の温度差は約5℃以内が最適です。
設定温度を1℃上げると(暖房時は2℃下げると)約10%も電気代が節約できます。

上手に活用　タイマー運転

タイマーを上手に使えば、
電気代も節約できます。

故障かな?

修理を依頼される前に、もう一度確かめてみてください。

これは故障ではありません。

すぐに運転しない		● 電源を入れた直後や再運転時、また運転中に 運転切換 を押すと、室外ユニットは約3分間運転しません。これはエアコンの故障を防ぐためです。
すぐに停止しない		● 運転停止後にエアコン内部を乾かすため、UV・除菌カビガード機能がはたらくためです。 ● 暖房運転停止後、室外ユニットに付着している霜を取り除くためです。
すぐに風が出ない		● 冷房・除湿運転開始時はニオイカット機能がはたらくためです。(風量自動のとき) ● 暖房運転開始時は冷風防止機能がはたらくためです。　*(16ページ)*
音がする	**水の流れるような音**	● エアコン内部の冷媒ガスが流れる音です。 (シュー、チョロチョロ、ゴボゴボなど)
	ピシッという音	● エアコン内部のスイッチ作動音、あるいは温度変化によって樹脂部品などが伸縮するときの音です。または、暖房運転を停止したときの熱交換器からの音です。
	ブシューンという音	● 霜取装置がはたらいたとき発生する音です。
	コン、カチッという音	● 除湿運転時、室内ユニットの切換弁が作動する音です。
	室外ユニットからの音	● 運転開始時、膨張弁が作動する音です。
いやなにおいがする		● 壁やじゅうたん、家具、衣類にしみこんでいるにおいがエアコン内部に付着し、運転中に強くにおうことがありますので、定期的な点検整備をおすすめします。点検整備は販売店にご相談ください。
室外ユニットから水・湯気が出る		● 暖房時、室外ユニットに付着した水および霜取運転で発生する湯気やとけた水が出るためです。 ● 冷房時、バルブや配管が冷やされ露が付着し、滴下することがあります。
熱交換器が変色している		● 熱交換器の右端が変色していますが、これは溶接によるもので、異常ではありません。

故障かな？（つづき）

症状	説明
風量が切り換わらない	● 暖房運転開始時には風量は切り換わりません。 ● 運転中に 運転切換 を押すと約3分間は微風運転となり、その後設定した風量になります。 ● 風量自動で運転開始時はUV・除菌ホコリカット機能がはたらくためです。（20ページ）
湿度が下がらない	● 室内の温度が低い場合に、除湿量が少なくなるためです。 ● 冷房運転から除湿·ランドリー運転に切り換えた場合は、熱交換器に付いた露が蒸発し、一時的に湿気もどりがあるためです。
室温が上がらない	● 除湿運転時、室温の上昇は外気やお部屋の熱を利用しますので、外気が低いときや室内の熱量が少ないためです。 ● 除湿運転時は、室温を上げる機能はないためです。
室温が下がらない 室温が下がりすぎる	● 除湿運転時は湿度優先の運転を行うため、室外の温度条件によっては、室温が下がらないことや下がりすぎることがあります。
テレビ、ラジオなどにノイズが入る	● アースをとらないと、ノイズの原因となりますので、必ずアースをとってください。
ほかのエアコンも 信号を受けてしまう	● 弊社エアコンを2台以上隣接設置するときはリモコンの混信をすることがありますので、アドレス切換を行ってください。（20ページ）

こんなときは再度ご確認ください。

症状	確認事項
運転しない	● 停電ではありませんか？ エアコンは停止したままです。通電後にあらためて運転操作をしなおしてください。 ● 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ● ブレーカーまたはヒューズが切れていませんか？ ● リモコンの乾電池が切れていませんか？ ● リモコンの乾電池の＋−が逆になっていませんか？ ● フラップが正しく取り付けられていますか？ ● 右側のロックつまみが「閉」の位置になっていますか？ （ロックつまみは安全スイッチに連動しています。）
よく暖まらない よく冷えない 	● 設定温度が高かったり(冷房時)、低く(暖房時)なっていませんか？ ● リモコンの信号は届いていますか？（5ページ） ● 窓や戸が開いていませんか？ ● 換気扇が回っていませんか？ ● エアフィルター、空気清浄フィルター（ご使用の場合）は汚れていませんか？ ● 室外ユニットのまわりに障害物はありませんか？
表示ランプが点滅する	● 右側のロックつまみが「閉」の位置になっていますか？
室内ユニットから水が吹き出したりポコポコ音がする	● ドレンホースは、確実に排水するように配管してありますか？

お買いあげの販売店にご連絡ください。

対応	症状
ただちに運転を停止し、電源プラグを抜いてお買いあげの販売店にご連絡ください。	● 運転音が異常に高くなった。 ● 室内ユニットから水が漏れる。 ● 架台や吊り下げなどの取付部品が腐食したりゆるんでいる。 ● 電源コードやプラグが異常に熱い。 ● こげくさいにおいがする。 ● ブレーカーやヒューズがたびたび切れる。

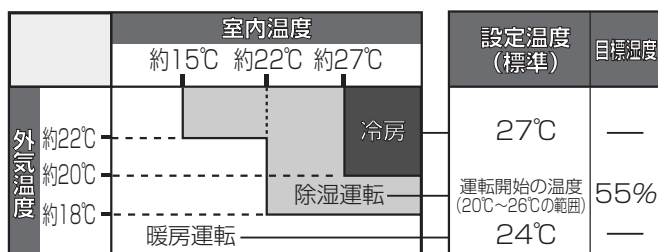
エアコンのくわしい説明

この説明書の前の部分では、運転に必要な操作手順を中心に説明しました。それぞれの機能の、よりくわしい説明を以下に解説します。

運転切換について

- 運転中に 運転切換 を押すと、運転が3分間停止し、その後おこのみの運転を開始します。
- 風量は自動に、風向は風向自動時のフラップ位置になります。

自動運転では

- 室内・外ユニットの温度センサーが、暖房・除湿・冷房運転を自動的に選択します。
  （運転をいったん停止してから4時間以内に再運転すると、停止前と同じ設定の運転になります。ただし、タイマー予約中は停止に含まれません。）

- 温度･風向･風量も自動的に設定されますが、風向および風量をおこのみに応じて変えることもできます。なお風量は切り換わるまでに数秒かかります。

除湿関連について

- 室温が13℃以上､外気温度が1℃以上のときにご使用ください。（ただし、ランドリー運転時は室温が1℃以上）
- 湿度が低いときや設定温度が高いときには、コンプレッサが運転しないことがあります。
- 運転中の室外ファンは外気温度などにより、低速運転や停止する場合があります。
- 除湿から冷房に切り換わったときは、約3分間コンプレッサが停止します。
- 除湿ボタンで、切り換えを行ったとき、ランドリーを通過した選択をすると、コンプレッサが約3分間停止します。
- 自動･暖房･冷房･空気清浄単独などの運転中に除湿ボタンを押すと、コンプレッサが約3分間停止します。
- 運転停止後には、室外ファンが数分後に止まります。

つぎの内容は異常ではありません

- 風量自動時は、除湿能力に応じて風量が変化します。
- 室内ユニットから「シュー」「ヒュー」という冷媒音や、室内ユニット切換弁の音が出る場合があります。
- 冷房運転から除湿運転に切り換えたときは、熱交換器に付いた露が一時的に蒸発するため、霧が吹くことがあります。

除湿運転では

- 室温が設定温度より高い場合は、冷房運転と同じ運転を行い、設定温度に近づくと除湿運転になります。
- 除湿運転では、お部屋の状況に応じて室外ファンの回転数や圧縮機の運転レベルを変化させ、湿度55%を目標とした運転を行います。
- 在室人数、お部屋の状況、外気温度によっては、設定温度､目標湿度に到達しなかったり、室温が上下することがあります。
- お部屋の温度を上げるはたらきはありません。
- 運転中に室温が設定温度より著しく低下した場合は、除湿能力をおさえた運転をするため、設定湿度にならないことがあります。
- 室内・外温度が24～30℃でお使いいただくと、効果的です。
- お部屋の温度が上がると、コンプレッサが約3分間停止し、冷房運転に切り換わります。

お願い

- 冷房・除湿時にエアフィルターや空気清浄フィルター（ご使用の場合）の目づまりで露がとんだり、凍結防止機能がはたらく場合があります。この場合はエアフィルターを掃除し、空気清浄フィルター（ご使用の場合）を交換してください。

ランドリー運転では

- ランドリー運転時は、湿度45%を目標に、お部屋に干した洗濯物を乾燥させる機能です。
- 冷房シーズンは除湿を連続して行います。
  暖房シーズンは暖房と除湿のくり返し運転となります。
- 運転開始後、約3時間で自動的に停止します。
  洗濯物の量やお部屋の条件により、洗濯物が十分に乾かない場合があります。洗濯物の乾き具合が不十分な場合は、再び運転をしなおしてください。
- タイマー予約、1･2･3･5Hタイマー運転、快眠運転との併用はできません。
- フラップは初期設定では①～⑥の位置をスイングします。
- 外気温が低いときには、窓に結露することがあります。

空気清浄単独運転では

- 風量、風向が自動の場合には、風量は「弱」、フラップは②の位置になります。
- 風量、風向は 風量 、風向 を押して変更できます。
- 通常運転中にも、空気清浄機能がはたらいています。
  （空気清浄フィルターをご使用の場合）

アドレス切換について

- 弊社エアコンを2台隣接設置するときに切り換えると、リモコンの混信を防止します。通常はAにセットしていますので、アドレス切換が必要な場合は、以下の手順で行ってください。また、3台以上のときはお買いあげの販売店にご相談ください。
  ①リモコンのカバーを開け、アドレス切換のツメを折ってBに切り換える。
  ②リモコンに乾電池を入れてふたを付け、リセット を押す。
  ③停止中の室内ユニットの 試運転 を先の細いもので押し続け、室内ユニットから“ピーピー”と音が出ることを確認し、一度手をはなす。
  ④その後、室内ユニットから“ピー”と音が出たら約5秒以内にリモコンの 運転/停止 を操作し、もう一度“ピーピー”と受信音が出ることを確認する。

UV・除菌クリーンシステムについて

- このシステムは、運転開始時にホコリが出るのをおさえる「UV・除菌ホコリカット機能」、運転停止後にエアコン内部のカビの発生をおさえる「UV・除菌カビガード機能」、運転停止中に行う「UV・除菌クリーン運転」の3つの機能により、室内ユニット内部をクリーンに保ち、エアコンから吹き出す空気をきれいにします。また、それぞれの機能が動作中には、室内ユニット内部にある、UV・除菌ユニットの、UVランプが点灯します。
- 室内ユニット内部にあるUV・除菌ユニットの、UVランプと除菌フィルターのはたらきによって除菌します。
- 運転開始時にはUV・除菌ユニットが作動し、30分間UVランプが点灯します。さらにUV・除菌ユニットを効果的に発揮させるために、1.5時間経過したのち再び30分間UVランプが点灯し、運転中はランプの点灯・消灯をくり返します。（UVランプは目視することはできません。）
- お部屋をきれいにしたり、すでに発生しているカビやホコリを取ることはできません。
- お部屋の明るさによっては、UVランプの光がエアコン内部に反射して見えることがありますが、異常ではありません。
- 表示部のUV・クリーンランプが点灯中は、前面パネルを開けないでください。

UV・除菌ホコリカット機能

- 風向自動・風量自動時の運転開始時に30秒間、UV・除菌ユニットが作動し、運転開始時のホコリが出るのをおさえるため弱風で運転し、エアコンから吹き出す風を本体にもどすエアショートを発生させ、室内ユニットに付いたホコリをフィルターで取りのぞきます。この間、UV・クリーンランプが点灯します。
- 冷房・除湿運転時ではニオイカット、暖房運転時では冷風防止機能が優先し、その後機能します。

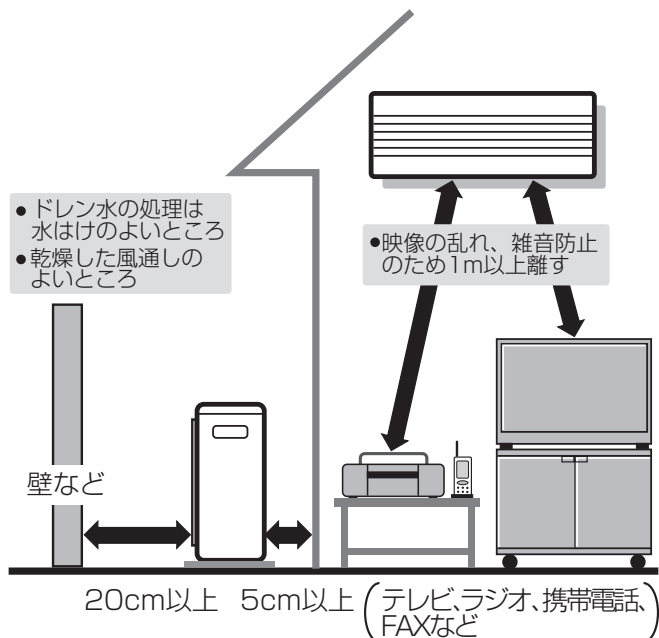
UV・除菌カビガード機能

- 停止後、室内ユニット内部のカビの発生をおさえるため、30秒間弱風で送風運転をし、フラップはファン停止後に閉じます。（運転ランプは消灯し、UV・クリーンランプが点灯）

UV・除菌クリーン運転

- 室内ユニット内部のカビの発生をおさえるため、停止中に UV・除菌クリーン を押すと、35分間運転します。（運転ランプは消灯、UV・クリーンランプが点灯）
  開始後10分間は送風運転で熱交換器に付着している水分を室外に除去し、残りの25分間は暖房運転で蒸発・乾燥を行います。またこの間、熱交温度と外気温度によっては、送風運転になります。
- 運転の途中で取り消したり外気温度によっては、室内ユニット内部が十分乾かないことがあります。
- フラップは、開始後の25分間は⑥より上の位置、その後10分間はさらに上の位置になります。
- お部屋の温度や外気温度によっては、窓や壁などに結露することがあります。
  （除菌効果については（財）日本紡績検査協会調べによる。）

設置について

設置場所

こんな場所は避けてください。

- 高周波ノイズを発生する機器のあるところ
- 水や油の蒸気にさらされるところ
- 可燃性ガスの漏れるおそれのあるところ
- 海浜地区など、塩分の多いところ（耐塩害仕様機種は除く）
- 温泉など、硫化ガスの発生するところ
- 吹出風が、動植物などに直接当たるところ
- 室外ユニットが水平に設置できないところ
- 天吊架台をご使用の場合、洗濯物を干すところの上
- 室内外ユニットの排水口をさまたげるところ
- 室外ユニットの吸込口が容易にさわれるところ

設置にあたっては電波障害へのご配慮を！

- 室外ユニットは、テレビ、ラジオなどから3m以上離してください。
- 電波の弱い地域において、テレビ用の増幅器を使用しているとき、まれにテレビにノイズが入ることがあります。この場合は増幅器の位置を変えてみてください。

電気工事

- **専門の技術が必要となりますので、お買いあげの販売店にご相談ください。**
- 据付工事説明書に基づいて工事をしてください。
- 電源は定格電圧で、エアコン専用の回路をご使用ください。コンセントの工事が必要な場合は、本体のプラグに合わせて工事をしてください。
- 設置場所によっては、漏電ブレーカーの取り付けが必要となります。
- アース工事は室内または室外ユニットどちらか一方で必ず行ってください。とくにインバーターエアコンは、高周波による帯電やノイズを逃がすためにも、アースが必要です。アースをとらないと電気を感じることがあります。なお、他の機器のアースとは2m以上離し、併用はしないでください。
- コンセントは新しいものを使用してください。古いと電気的接触が不十分で思わぬ事故になることがあります。
- 電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用やタコ足配線をしないでください。

設置にあたっては騒音にもご配慮を！

- エアコンの重量にも十分耐え、騒音や振動が増大しないようなところ、室外ユニットの吹出口からの風や騒音が隣家の迷惑にならないようなところをお選びください。
- 吹出口近くにものを置くと、機能低下や騒音の原因になります。

移転について

- 転居・増築などでエアコンを取りはずしたり、再び設置する場合は、専門の技術（ポンプダウンやエアパージなど）が必要となります。移転の際には、必ずお買いあげの販売店にご相談ください。
- 他社のエアコンを弊社のものに変えるときは、配管・冷凍機油はそのまま使用しないでください。
また、古い配管も使用しないでください。
- 転居の場合、50Hz・60Hz共用ですので、そのままご使用になれます。
- 新冷媒R410A用の冷凍機油はR22用とは異なります。これが少量でも混入すると、不純物を生成し冷媒回路が故障する原因となりますので、絶対に避けてください。

仕様

室内・室外の組み合わせ形名			室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
			SAP-S22P	SAP-CS22P	SAP-S25P	SAP-CS25P	SAP-S28P	SAP-CS28P
種類			スプリット形　冷房・暖房兼用					
電源			単相100V　50/60Hz					
暖房	能力	kW	2.8(0.1～5.2)		3.2(0.1～5.4)		3.6(0.1～5.5)	
暖房	運転電流	A	5.6		6.5		7.8	
暖房	消費電力	W	510(90～1,245)		590(90～1,260)		710(90～1,285)	
暖房	期間消費電力量	kWh	630		718		820	
暖房	運転音	dB	42	44	43	44	44	44
暖房	エネルギー消費効率	―	5.49		5.42		5.07	
暖房	暖房面積の目安（m^2） 鉄筋アパート南向き洋室		13		15		16	
暖房	暖房面積の目安（m^2） 木造南向き和室		10		12		13	
冷房	能力	kW	2.2(0.1～3.1)		2.5(0.1～3.3)		2.8(0.1～3.6)	
冷房	運転電流	A	4.3		4.9		5.9	
冷房	消費電力	W	390(90～900)		440(90～980)		530(90～1,180)	
冷房	期間消費電力量	kWh	175		191		220	
冷房	運転音	dB	40	43	41	43	43	43
冷房	エネルギー消費効率	―	5.64		5.68		5.28	
冷房	冷房面積の目安（m^2） 鉄筋アパート南向き洋室		15		17		19	
冷房	冷房面積の目安（m^2） 木造南向き和室		10		11		13	
期間消費電力量		kWh	805		909		1,040	
冷暖平均エネルギー消費効率		―	5.57		5.55		5.18	
外形寸法（高さ×幅×奥行）	室内	mm	295×805×230(据付後233)					
外形寸法（高さ×幅×奥行）	室外	mm	565×720×265		565×790×265		565×790×265	
製品質量		kg	10.0	33.0	10.0	34.0	10.0	34.0
運転/停止ボタンで停止時の消費電力		W	0.8					

室内・室外の組み合わせ形名			室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
			SAP-S36P	SAP-CS36P	SAP-S45P2	SAP-CS45P2	SAP-S56P2	SAP-CS56P2
種類			スプリット形　冷房・暖房兼用					
電源			単相100V　50/60Hz		単相200V　50/60Hz			
暖房	能力	kW	4.8(0.1～5.8)		6.7(0.2～8.7)		7.1(0.2～9.2)	
暖房	運転電流	A	13.7		10.8		10.0	
暖房	消費電力	W	1,250(90～1,645)		2,120(80～2,700)		1,950(80～2,915)	
暖房	期間消費電力量	kWh	1,353		1,789		2,144	
暖房	運転音	dB	44	45	45	48	47	50
暖房	エネルギー消費効率	―	3.84		3.16		3.64	
暖房	暖房面積の目安（m^2） 鉄筋アパート南向き洋室		22		30		32	
暖房	暖房面積の目安（m^2） 木造南向き和室		17		24		26	
冷房	能力	kW	3.6(0.1～3.8)		4.5(0.2～5.2)		5.6(0.2～5.8)	
冷房	運転電流	A	11.4		7.0		10.5	
冷房	消費電力	W	1,030(90～1,240)		1,370(90～2,010)		2,050(90～2,200)	
冷房	期間消費電力量	kWh	367		497		659	
冷房	運転音	dB	43	44	45	48	47	49
冷房	エネルギー消費効率	―	3.50		3.16		2.73	
冷房	冷房面積の目安（m^2） 鉄筋アパート南向き洋室		25		31		39	
冷房	冷房面積の目安（m^2） 木造南向き和室		16		20		25	
期間消費電力量		kWh	1,720		2,286		2,803	
冷暖平均エネルギー消費効率		―	3.67		3.22		3.19	
外形寸法（高さ×幅×奥行）	室内	mm	295×805×230(据付後233)					
外形寸法（高さ×幅×奥行）	室外	mm	565×790×265		565×790×285		565×790×285	
製品質量		kg	10.0	34.0	10.0	38.0	10.0	38.0
運転/停止ボタンで停止時の消費電力		W	0.8		0.95			

付属品	
付属品	取扱説明書(1)、保証書(1)、据付工事説明書(1) リモコン(1)RCS-SP1、単4形アルカリ乾電池(2) リモコン取付具(1)、取付用ネジ(2)、空気清浄フィルター(1)STK-F4A
別売品	空気清浄フィルター　STK-F4A（りんごのカテキン入りフィルター） STK-F4（標準フィルター） STK-F5B（りんごのカテキン入りフィルター） STK-F5A（りんごのカテキン入りフィルター） テレコントローラー　SHA-TC1

- この仕様はJIS(日本工業規格)に基づいた数値です。
- 表中の数値等はお断りなく変更する場合があります。
- 別売品についてはお買いあげの販売店にご相談ください。
- 取扱説明書・本体の定格銘板には色記号の表示を省略しています。梱包箱に表示している形名の（　）内の記号が色記号です。
- 室外ユニットの形名のうしろに-TEが付いているものは、「耐塩害仕様」の機種を示します。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

- このエアコンには保証書が付いています。
- お買いあげの販売店が所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間

- お買いあげの日から1年間。
- 冷媒回路部分については5年間。

補修用性能部品の保有期間

- ルームエアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後9年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点は

- ご不明な点はお買いあげの販売店またはもよりの「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

修理を依頼されるときは

- 「故障かな?」の項目を調べていただき、なお異常が認められる場合にはまず運転を停止し、電源プラグを抜いてお買いあげの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

- 保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間を過ぎているときは

- 修理すればご使用できる場合には、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

- 技術料
  故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- 部品代
  修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等が含まれています。
- 出張料
  製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お客さまメモ（お買いあげの際に記入しておきますと、修理などを依頼されるとき便利です。）

形名	
お買いあげ日	年　月　日
お買いあげ販売店 電話	（　　）　－

点検整備のおすすめ

- ご使用状態によって異なりますが、エアコンを数シーズンご使用になりますと、内部が汚れ、能力が低下したり、においの発生・水漏れ、UV・除菌ユニットの性能低下などを起こす原因になります。通常のお手入れとは別に、点検整備をおすすめします。点検整備は、お買いあげの販売店にご相談ください。なお、この場合は実費が必要となります。

廃棄時のご注意

- 2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客さまがご使用済みのエアコンを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

総合相談窓口　**受付時間**：9:00～17:00まで（1月1日～3日は休ませていただきます）

家電製品についての全般的なご相談は、もよりの下記電話番号にお問い合わせください。

◆北海道地区
札幌（011）290-1522
◆東北地区
仙台（022）714-6137
◆関東地区
東京（03）3815-1111
◆中部・北陸地区
名古屋（052）533-5245
◆近畿・四国地区
大阪（06）6994-9570
◆中国地区
広島（082）297-6067
◆九州・沖縄地区
福岡（092）263-7629

郵便・FAXでご相談される場合は

◆ 三洋電機（株）お客さまセンター
〒570-8677
大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX（06）6994-9510

詳細は、別紙の一覧表をご覧ください。
住所、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

愛情点検　**●長年ご使用のエアコンの点検を！**

こんな症状はありませんか

- ●電源コードやプラグが異常に熱い。
- ●運転音が異常に高くなった。
- ●エアコンに触れるとピリピリと電気を感じる。
- ●水漏れがある。
- ●架台の吊下げ等の取付部品が腐食、ゆるんでいる。
- ●その他の異常や故障がある。

使用を中止してください。
故障や事故防止のため電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

三洋電機株式会社
三洋エアコンディショナーズ株式会社

〒370-0596　群馬県邑楽郡大泉町坂田1丁目1番1号

住所は変更することがありますのでご了承ください。
この商品は海外では使用できません。(FOR USE IN JAPAN ONLY)

85264180655004